

第43回関西広域連合委員会の概要

平成26年3月28日
関西広域連合本部

○日時：平成26年3月27日（木） 16:00～17:30

○場所：リーガロイヤルNCB 2F 淀の間

○出席者：井戸広域連合長、嘉田委員、松井委員、平井委員、飯泉委員、竹山委員、
山下副委員（京都府）、塚本副委員（京都市）、栗山局長（和歌山県）、
辰己部長（大阪市）
連携団体（福井県、三重県、奈良県）

○議事概要

1 協議事項

① 原子力防災対策に関する申し入れについて

・関西広域連合がこれまで行った原子力防災対策等にかかる申し入れにおいて、未だ適切な指針が示されず対応が遅れているもの（原子力災害対策指針において今後の検討課題とされている「プルームの影響を考慮したPPAの導入」などについて具体的な指針を示すこと、事故時のUPZ外の地域も含めたモニタリング実施方針とSPEEDI等による大気中拡散解析結果の活用方針を具体的に示すことなど）に対し、政府に早急な取り組みを求める申し入れを行うことについて、原案どおり決定した。

② 平成26年度関西広域連合の体制について

・産学官連携によるイノベーション推進体制の整備、本部事務局体制の強化（計画課と国出先機関対策PTの一体的見直し）など、平成26年度の体制について、原案どおり決定した。

③ 近畿圏広域地方計画への対応について

・関西広域連合として近畿圏広域地方計画策定に積極的に関わることで、策定権限の移譲に向けて実績を示すため、来年度以降の対応案（国への提案・次期近畿圏広域地方計画（素案）の策定・関西圏域の展望研究）について協議し、取組を進めることを確認した。なお、協議の場の設置にあたっては、連携県（福井県、三重県、奈良県）に対して参加を要請することとした。

④ 関西防災・減災プラン風水害対策編について

・災害の発生に備えた風水害に強い地域づくりを進め、住民避難の実効性の向上と災害対応体制の強化・災害発生時の初動体制の確立と応援・受援の円滑な実施を行う関西共通の対応方針を取りまとめた「関西防災・減災プラン風水害対策編」について、原案どおり決定した。今後、パブリックコメントを行ったうえで、6月連合臨時議会へ議案として提出する予定。

⑤ 関西防災・減災プラン感染症対策編（新型インフルエンザ等）について

・新型インフルエンザ等の発生時に、府県域を超えた広域調整を行うための方針を取りまとめた「関西防災・減災プラン感染症対策編（新型インフルエンザ等）」について、社会的規制を補足することとした。今後、修正を行い、パブリックコメントを行った上で、6月連合臨時議会へ議案として提出する予定。

⑥ 関西防災・減災プラン感染症対策編（鳥インフルエンザ・口蹄疫等）について

・法律等に基づく防疫措置が円滑に実施できるよう、関西圏域における防疫措置に伴う関連業務、付随業務にかかる応援・受援の広域調整を実施するための方針を取りまとめた「関西防災・減災プラン感染症対策編（鳥インフルエンザ・口蹄疫等）」について、原案どおり決定した。今後、パブリックコメントを行ったうえで、6月連合臨時議会へ議案として提出する予定。

2 報告事項

① 原子力災害に係る広域避難ガイドラインについて

・原子力災害が発生した際に、関西圏域において広域避難が円滑に行われるよう、避難元と避難先のマッチング、情報連絡体制、広域避難の実施方針及び避難所運営方針等を定めたガイドラインを策定したことについて報告があった。

② 関西「文化の道」事業について

- ・ 関西「文化の道」事業の一環として、人形浄瑠璃施設・講演への誘客を目的としたリーフレットを作成したことについて報告があった。

③ 「兵庫県ドクターヘリ」の事業移管及び愛称決定について

- ・ 関西広域連合が主体となったドクターヘリの一体的な運営体制を構築するため、「兵庫県ドクターヘリ」を関西広域連合へ事業移管するとともに、愛称を「KANSAI・はばタン」に決定したことについて報告があった。

④ 准看護師試験実施結果について

- ・ 関西広域連合における初めての准看護師試験を実施したことについて報告があった。

⑤ 道州制のあり方研究会（最終報告）について

- ・ 道州制のあり方研究会の研究成果を取りまとめた最終報告を3月24日に発表したことについて報告があった。